



## 化学部門教員と大学院生らが教育支援センター「くすの実」で 理科実験教室を実施(6)

### 【概要】

2025 年 11 月 14 日(金)に、不登校支援機関の教育支援センター「くすの実」にて理工学部 長田 聡史 教授と理工学部生命化学コースの学生と先進健康科学研究科（理工系）の大学院生らが理科実験教室を実施しました。

### 【本文】

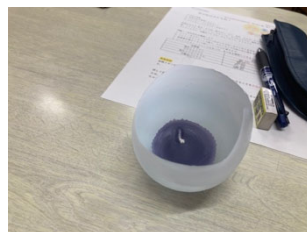
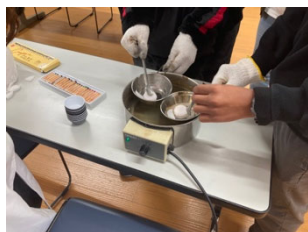
理科実験教室支援活動は、佐賀市教育委員会の不登校支援機関である教育支援センター「くすの実」からの要請を受け、理科への興味をきっかけとして子どもたちの就学意欲の芽生えを促すことを目的に実施しています。

2025 年度第 6 回は 11 月 14 日（金）に理工学部化学部門 長田 聡史 教授が、先進健康科学研究科（理工系）の大学院生および理工学部理工学科生命化学コースの学部生とともに、「アロキャンドルを作ろう」をテーマに実施しました。炎色反応の観察に加え、アロマキャンドル作りのワークも組み合わせた内容です。

実験では、エタノールを染み込ませたコットンの上にヨウ化カリウム、塩化リチウム、塩化ストロンチウム、塩化銅、水酸化バリウムなどの金属塩をのせ、着火して炎の色が変化する様子を観察しました。子どもたちは照明を落とした教室で、エタノールが燃え尽きるまで炎をじっと見つめ、それぞれに見えた色を熱心に記録していました。最も印象に残ったのは、ストロンチウムによる赤色だったようです。

続いて、炎に関連した活動としてアロマキャンドル作りを行いました。市販のロウを湯煎で溶かし、クレヨンで好みの色に着色した後、アロマオイルやバニリンで香り付けをしました。芯を入れた型に溶かしたロウを静かに流し込み、オリジナルキャンドル作りに挑戦しました。どの子も集中して作業に取り組み、教室での時間が足りなくなるほどの熱中ぶりでした。

今回が今年度最後の理科実験教室であったため、実験終了後には教育支援センターのご厚意で、参加者全員で記念写真を撮影しました。



「理科実験教室」の様子